

# なごみ

令和二年五月

題字 (特養ご利用者)

周防 和衛 様

## WEB面会 はじめました

タイトルにあります、「WEB面会」あまり聞きなれない響きですね。現在、日本だけでなく世界を巻き込む新型コロナウイルス禍で、宝塚ちどりの感染予防のためご家族の面会を原則、制限させて頂いております。この面会制限も三月二日から始まり、すでに二か月以上が経過いたしました。幸い、ご利用者の皆様には外出制限や面会制限の影響と考えられるような体調不良や、不安等は見られておりません。ですが、やはりご家族も、ご利用者も双方、顔を見て話し、笑い合えることが本来の形であると思えます。そこで、少しでもその助けになればとインターネットを使用し、このWEB面会を五月一日から開始いたしました。特養とグループホームのご家族に、四月の後半にご案内

を送らせて頂き準備を進めておりました。WEB面会と銘打っていても、その実は、無料通話アプリのLINEを使ってのビデオ通話です。ご家族が自宅から、お持ちのスマートフォンなどを使い宝塚ちどりにいるご利用者とビデオ通話を行う、というシンプルなものです。この記事を書いている五月六日現在で十六名の方がWEB面会をご利用されました。直接会って、お話をすることには及びませんが、ご利用者のお元氣な姿を画面の向こうで確認されたご家族には、少しだけでも安心していただけたのではないのでしょうか。ご利用者は、画面に映る自身のお子様やご主人の姿にびっくりしたり、「元氣にして



る？」と、笑顔で手を振られたり。中には全く驚かずに普段のようにお話する方もおられました。どなたも嬉しそうな様子でした。実際にビデオ通話をする

操作というのはそれほど難しくなく行えますが、通話前の登録の手順など、少しわかりにくいと感じる方もおられるかもしれません。ご興味がある方、使いたいけどよくわからないとお困りの方はお気軽にお問い合わせください。



新型コロナウイルスの流行は社会全体のいろいろな場面、シチュエーションで困難や、不安を広げています。その中でこのWEB面会は、テクノロジーの活用を押し進め、ご利用者の暮らしを少しでも良くする、ポジティブな要素になりえるかもしれません。五月末まで延長された非常事態宣言。耐える日々はまだ続き

**職員紹介**

ますが、皆様の「今までの変わりない日常」が戻って来るまで、職員全員一丸となって、できる事に取り組みんでいきます。(杉本)

昨年、九月に入職しました岩木明德と申します。五月からは鶴の荘・亀井荘ユニットで勤務しています。前職は有料老人ホームにて一般職を経由し生活相談員をやらせて頂きました。介護経験としては五年程度の若輩者です。その他の職としてトラックの運転手を約十二年勤めてまいりました。介護施設で生活しているご利用者は、必ずしもその施設がある土地、地元の方々ではありません。介護施設で勤める場合、回想法ではありませんが若かりし頃に住んでいた土地のお話ができると思います、全国を走り回るトラック運転手として働いていたら、十



数年の月日が流れておりました(笑)。実際に前の施設では、地方からいらしている方にその土地のお話しをすると、懐かしんでおられました。現在の趣味はこれといってなく、特技もありません。ですが、広く浅くを信条に大抵の事は出来るつもりです。いわゆる、器用貧乏という感じで捉えていただけると分かりやすいと思います。ただ、水泳だけはどうしても上手くならずプールに行っても浮き輪が手放せません。どうしたら泳ぐのが上手くなるのかどなたか教えてください(笑)。よくわからない感じの自己紹介ですがご容赦ください。お目汚し失礼いたしました。(岩木)



**ちどりの防災**

防災委員会の船越です。当施設では年間二回の防災教育と自衛消防訓練を実施しています。防災教育では啓発DVDを視聴、ダ

ンボールベットの作成、シーツ搬送等災害時に必要とされる技術を学ぶなどしています。また防災訓練では、実際に火事になった時を想定して通報・避難・消火訓練を実施しています。災害はいつ起こるかわかりません。災害発生時に、訓練などの備えが少しでも発揮出来るよう努力しております。(船越)



**緑は癒し**

四月下旬、宝塚ちどりの屋上では色とりどりの花が咲いていました。暖かい気候でしっかり育った草花は、まさに見ごろ。屋上にご利用者をお連れして、楽しんでいただいても良かったのですが、屋上に行くことができない方の為に、小さな花束に



してユニットに配ることになりました。紙コップに飾ったその花は、まるでミニチュアの鉢植えのようにも見え、かわいらしさが増します。「ちっちゃいけどかわいらしいね」とご利用者にも喜んでいただけました。屋上には花だけでなく、少しだけですが野菜も植わっています。その中でもエンドウ豆がすくすく大きくなり、収穫のタイミングを迎えています。植物の緑は見ているだけで心が落ち着き、パワーをもらえる気がしますね。



(杉本)

## アマビエあらわる!

最近ニュースやSNSで話題の

「アマビエ」というものはご存知でしょうか? アマビエとは半人半魚の妖怪とされています。豊作や疫病の予言をするために海中より現れ「病がはやったら私の写し絵を人々に見せよ」と告げて、海に戻ったと言い伝えがあるそうです。江戸時代後期に肥後(現在の熊本)から江戸へと伝わったといわれています。この新型コロナウイルス流行に合わせて、疫病を遠ざけてくれるようにとの願いを込めて、SNS上でイラストなどが取り上げられ広まっています。その「アマビエ」が宝塚ちどりにも現れました。陶芸が趣味(教室も今は休止中)の職員が、無病息災の願いを込め皆さんの癒しになれば、と粘土でアマビエを作ってくれました。これを見たご利用者は「この可愛いのがあんなに作ったの? うまいね



」と職員をほめてくださいました。この事態が一日も早く収束しますように、と願っております。

(杉本)

## 嬉しい便り

現在、宝塚ちどりでは外国出身の方が合計十五名、介護職員として勤務しています。国籍はインドネシアとフィリピンで、その中には介護福祉士の資格取得者が三名います。EPA(経済連携協定)の制度だけでなく、昨年の四月より特定技能の在留資格で外国人介護職員の就労が可能になりました。宝塚ちどりでもこの四月から、特定技能で一名の方が介護職員として勤務しています。そんな中、皆様にご報告があります。二〇二〇年一月に行われた第三十二回介護福祉士国家試験に合格し、宝塚ちどりから二名のEPA介護福祉士が誕生しました。そんなお二人の軌跡や、正職員として働く意気込みなどのインタビューを来月号でお伝えする予定です。

(広報委員)

### 頭の体操（特別編）

気付けばもう今は新緑の季節。ゴールデンウィークも過ぎ、日々夏に近づくかのように気温が高い日も増えてきています。今年はせっかくの春を十分に堪能できないまま、初夏になってしまいました。もう花びらのかけらも見当たりませんが、春と言えば「桜」。宝塚ちどりの近くでも、毎年四月の初め頃には綺麗な桜がたくさん咲いています。今年は新型コロナウイルス騒ぎでお花見にも出かけることができず、テレビなどで映る桜を見るのが精いっぱい。せめて紙面上で一月遅れの桜を楽しんでもらおうかと今回は「桜」に関するクイズを作ってみました。外出せずに過ごす時間が多い中、体を動かすことも大切ですが、頭を動かすことでもリフレッシュができるのではないのでしょうか。頭を動かし、桜の花で心の栄養も補給していただければと思っておきます。（中島）



問題…桜の写真と桜の名前と説明がバラバラです。正しい組み合わせはどれでしょう。

①ソメイヨシノ

江戸時代末期に江戸染井村の植木屋が「吉野桜」として売り出したとか…。

②ベニガサ

浅利政俊によって糸括と里桜の自然交雑によって得られた実生苗から品種。

③ヤマザクラ

本州、四国、九州、に自生する桜。寿命が長く、奈良県吉野山の「千本桜」など各地に名木あり。

④アーコリード

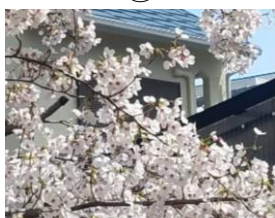
イギリス産の桜で小彼岸桜と大山桜の交配種。日本では春と秋の二期咲き。

⑤ウコン

淡黄緑色の花色が、ウコンという植物の根茎を使って染めた色（鬱金色）に似ていることからこの名がつけられたとか…。

⑥チヨウジザクラ

本州北中部と熊本県の一部に分布する日本固有の野生種。花が小さいのに比べてがく筒は太くて長め。



答え  
 ①-㊴ ②-㊵  
 ③-㊩ ④-㊥  
 ⑤-㊦ ⑥-㊦  
 ㊳は宝塚ちどりの庭の桜です